

日本理学療法士協会ってなに？ ～団体紹介編～

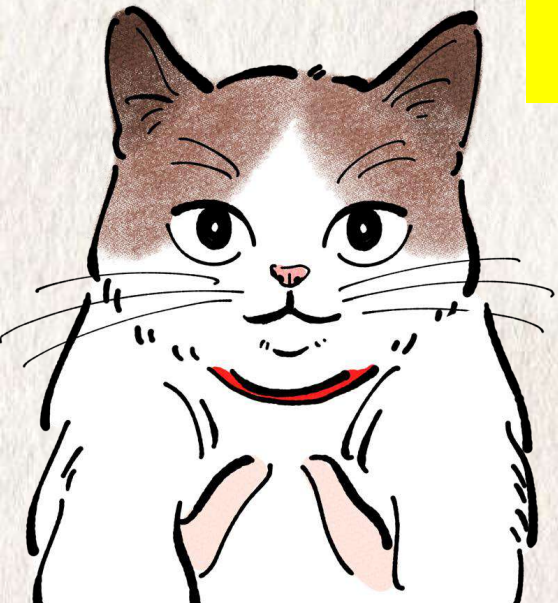


本資料の目的とは

本資料は、学生である皆さんに

「公益社団法人日本理学療法士協会」
という団体の存在を知ってほしい

はじめましてだニャー



という資料です。

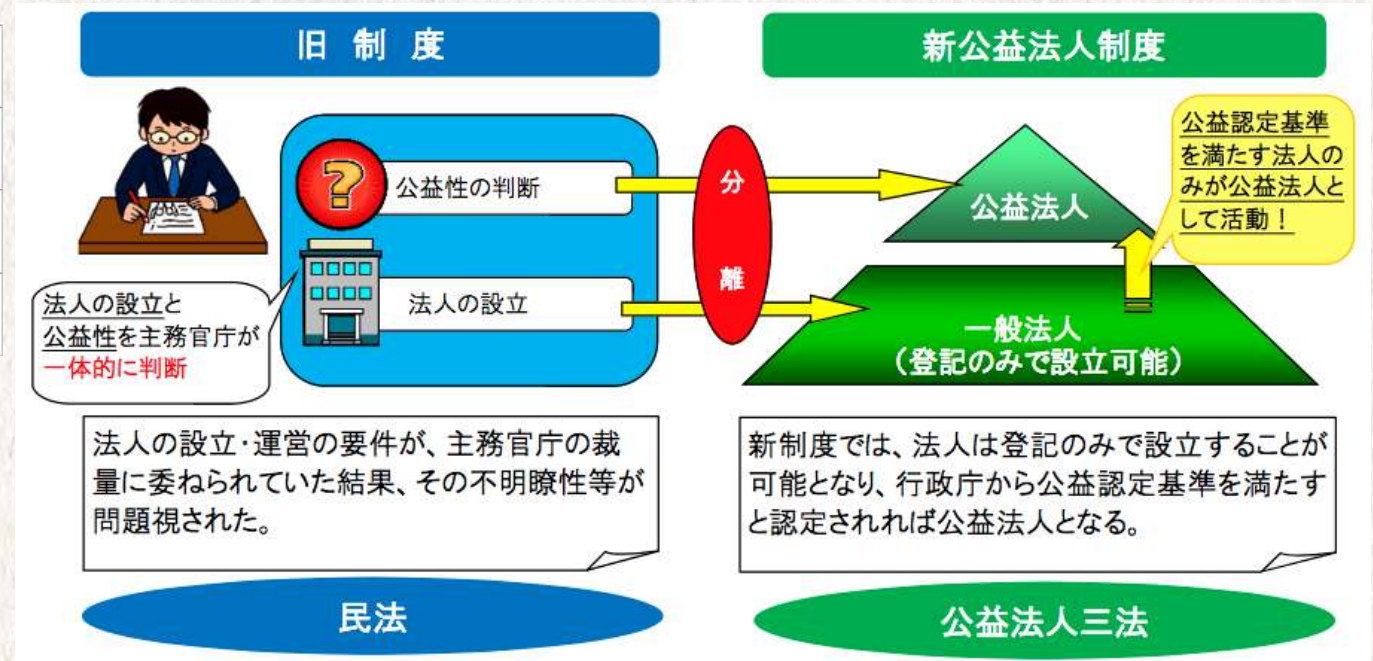
公益社団法人とは

2008年から施行された「新公益法人制度」において
行政庁から公益性の認定を受けた社団です。

【社団法人の種類】

一般社団法人	設立の登記をすることで法人格を有する社団
公益社団法人	法人格を持った社団のうち、「公益認定基準」を受けた社団
営利社団法人	営利を目的とした事業活動を行う社団。株式会社など
その他社団法人	その他の特別法で規定される社団。労働組合、協同組合など

【新制度における公益認定】



出典：KiND行政書士法人

日本理学療法士協会とは

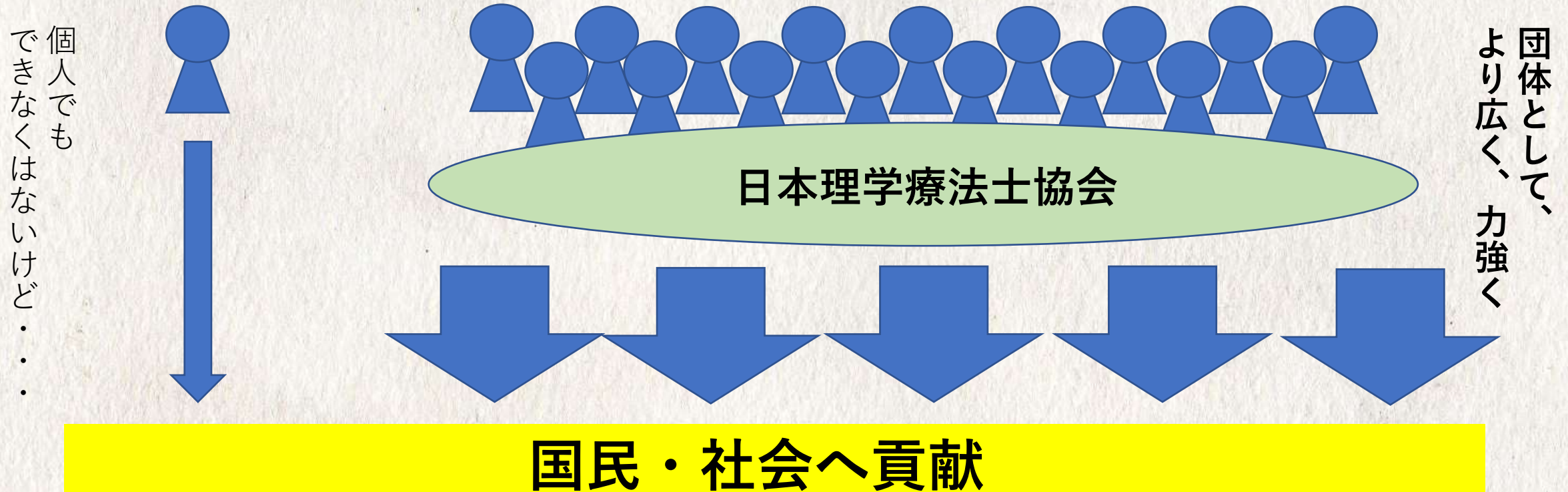
公共の利益に寄与する公益社団法人という法人格を持ち、
理学療法士への支援を通して実現していきます。

理学療法士の資質向上を通じて、
医療・保健・福祉の向上を目指しています。

全国の理学療法士が集う職能・学術団体として、
理学療法士の利益を守る社会的活動を実施しています。

団体^だと何が違う

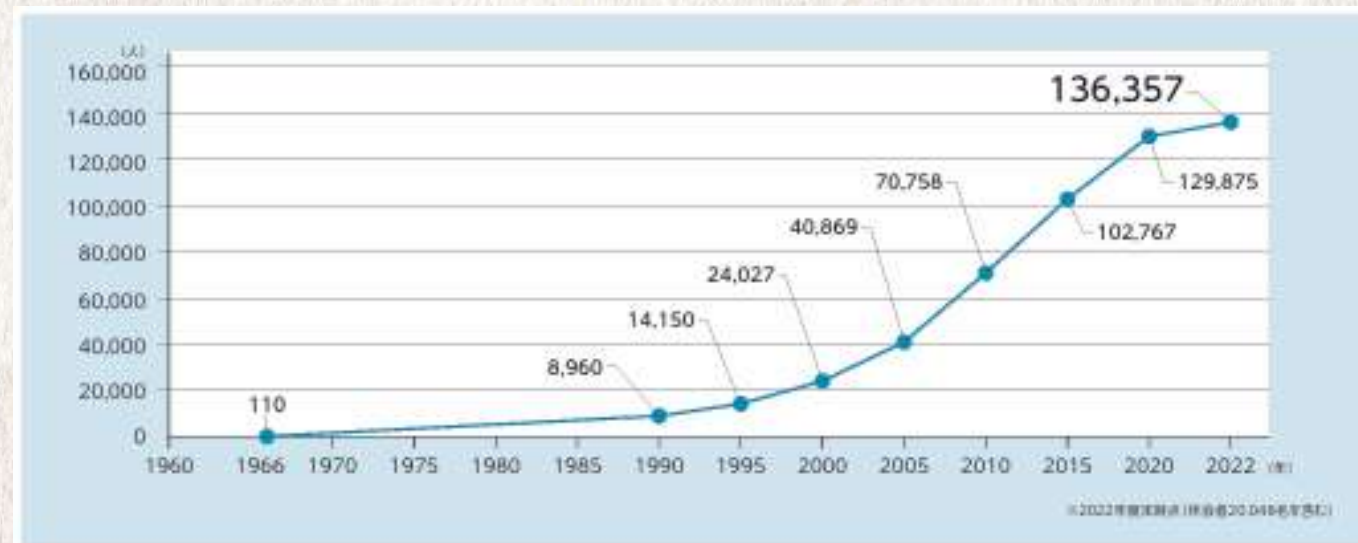
→理学療法士が集うことで、
より広く、力強く国民・社会へ貢献



団体概要

名称	公益社団法人日本理学療法士協会
代表者	会長 齊藤 秀之
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木7-11-10
役員	会長 1 名、副会長 3 名、専務理事 1 名、 常務理事 6 名、理事 12 名、監事 3 名
活動地域	国内および海外

会員数の推移



日本理学療法士協会^は 何をしている団体？

< 4つの役割 >

1

社会に働きかける
職能・政策企画

2

社会貢献の力を高める
学習支援

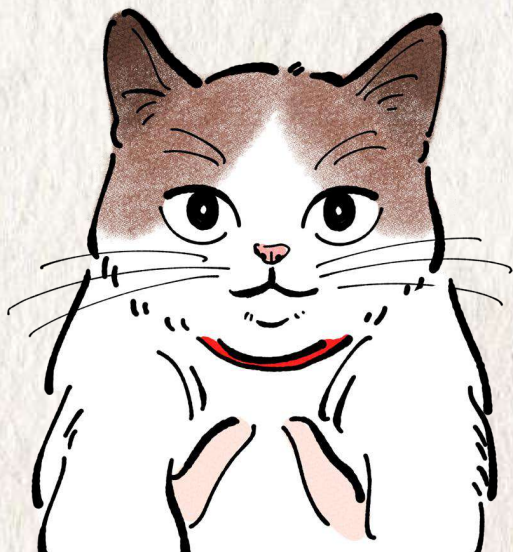
3

日本と海外をつなぐ
国際活動

4

理学療法士と国民をつなぐ
広報活動

1. 職能・政策企画



職能・政策企画の役割

国民の医療・健康・福祉に寄与する、
理学療法に関わる政策・施策の提案

拡大する理学療法士の職域の後押し・安定を図り、
国民の健康増進・介護予防を支援

職能・政策企画の具体例

- 政府・行政等への要望書提出
- 拡大する職域を適切に国民へ届けるための企画・調査
- 行政・企業・他団体との連携
- 新たな活躍の場に向けた研修
- 理学療法士のための情報提供

たとえば・・・

本会の働きかけ、要望提出



**「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」に
「理学療法士」が追加**



「理学療法士」の貢献度の高さが行政に認められ、
事業実施の際に理学療法士が活用されやすくなり、
国民が適切な支援を受けやすくなります。

地域貢献活動

【職場における腰痛予防宣言！】



腰痛予防講習会の開催や
職場のリスク見積と改善の支援

【介護予防事業】



シルバーリハビリ体操による
住民主体型の介護予防活動の推進

【就労支援事業】



働く人の健康、転倒等労働災害防止に向けた
企業での就労支援事業



従業員の体力測定会および
転倒腰痛防止等の
対策施策のモデル事業を実施

拡大する職域 理学療法が国民に届く場所

かつて病院中心であった職域がさまざまに広がり、
国民が広く理学療法を受けられるよう後押ししています。

通所リハビリテーション／訪問リハビリテーション／
老人保健施設／住宅改修・福祉用具へのアドバイス

学校保健、ウィメンズ、
労働者の支援

競技スポーツ・障がい者
スポーツ支援

介護予防／健康増進／
フレイル予防

障害者福祉センター／障害児（者）通所・
入園施設／特別支援学級・学校

大学／研究所／企業

病院／診療所

市・区役所／保健所／
地域包括支援センター

理学療法士がさらに社会に貢献するように

これから理学療法士になる人達がもっと社会で貢献できるように、
活躍できる場を広げるため、さまざまな活動を行っています。

<協会事業例>

東京2020オリ・パラ大会選手村での
アスリート支援



Sport in Life



高齢者の介護予防や被災地での
支援活動



2. 学習支援



学習支援の役割

国民により良い理学療法を提供するため、
理学療法士の学習制度（生涯学習制度）を運営

研修会・eラーニング・協会雑誌を提供し、
理学療法士の継続的なスキルアップを促す

生涯学習制度の全体像

生涯学習制度のイメージ図

生涯学習制度

前期研修

座学:22コマ(33時間)
実地研修:32コマ(48時間)

後期研修

座学:51コマ(76.5時間)
A:臨床推論
B:臨床疫学
C:領域別研修(座学)
D:関連領域
E:領域別研修(事例)、(育成)
F:最新の知見
実地経験:3年(36か月)

(前期研修・後期研修の修了)
登録理学療法士

5年ごとの更新制

登録理学療法士

最短履修期間:2年間

最短履修期間:3年間

最短5年間の研鑽期間(前期研修・後期研修)を経て、
一人前のジェネラリスト(登録理学療法士)として大きく社会へ貢献

専門理学療法士制度

専門理学療法士

5年ごとの更新制

認定理学療法士制度

認定理学療法士

5年ごとの更新制

より専門性の高い臨床技能を有する
スペシャリスト
制度

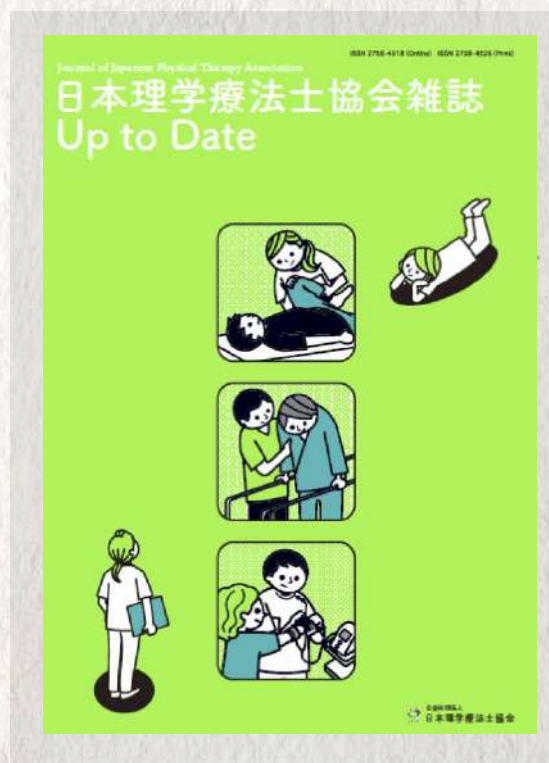
国民に質の高い理学療法を提供

研修会、eラーニング、協会雑誌の提供

国民が求めるより良質の理学療法に応じられるように、
系統だった自己研鑽学習支援を提供



随時開催する
研修会・eラーニング

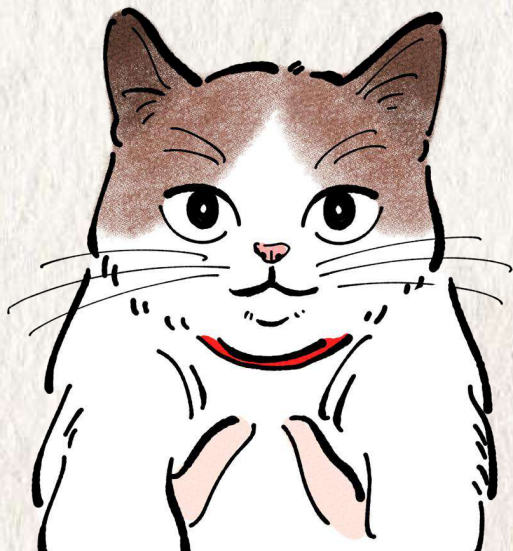


協会雑誌
(オンライン)



全国規模の学術研修大会
(年1回)

3. 國際活動

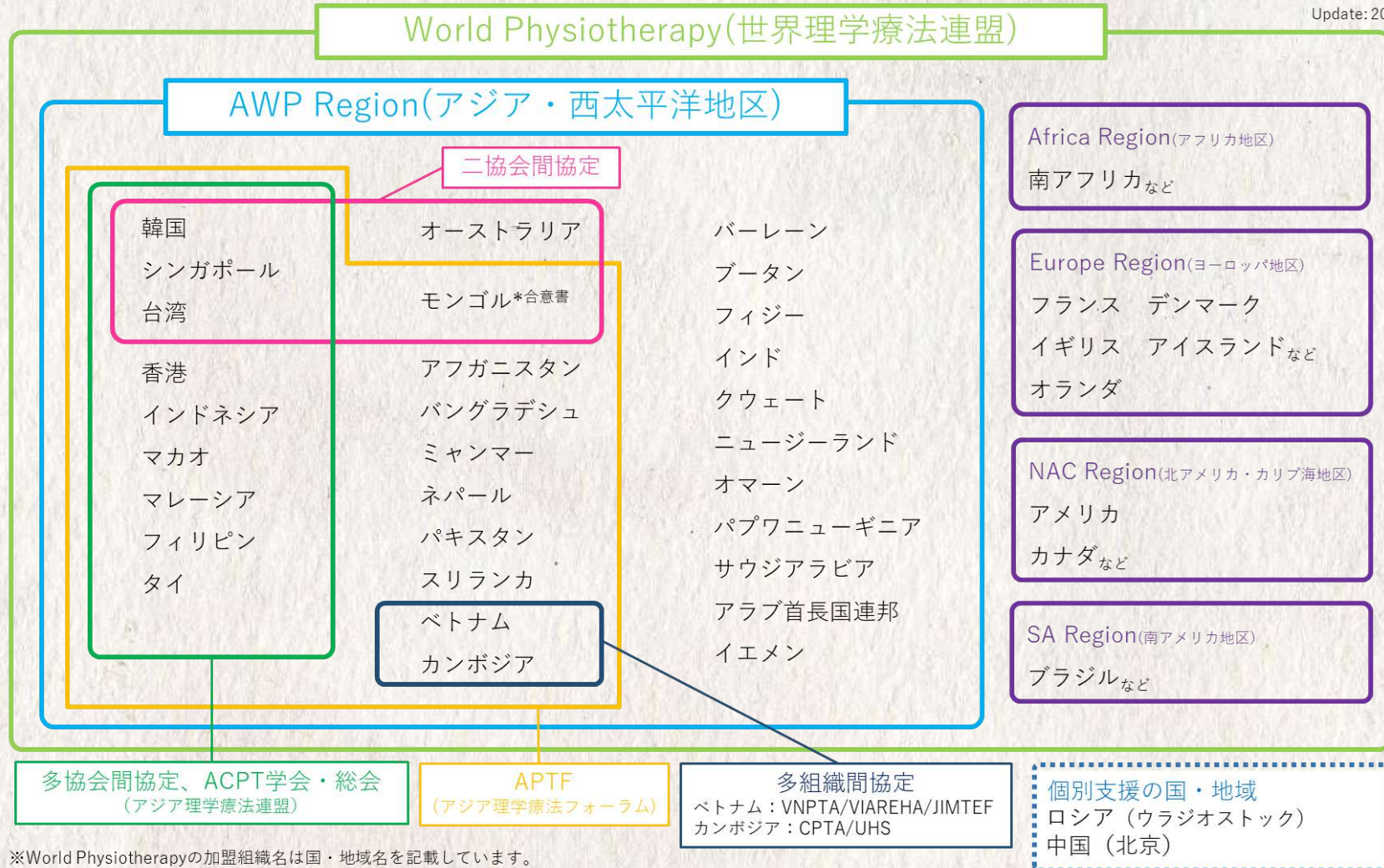


国際活動の役割

各国の理学療法士協会との関係づくり

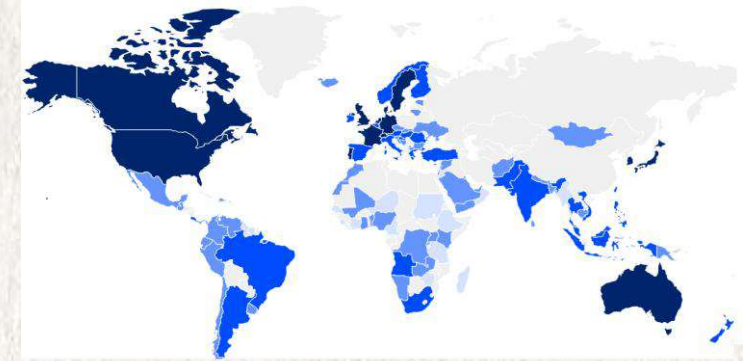
多国間の理学療法士の
言語交換・情報収集・発信

海外との関係作り



※World Physiotherapyの加盟組織名は国・地域名を記載しています。

※AWP Region以外の地区では、過去にやり取りや共同事業等を実施したことがある国・地域名を記載しています。



海外理学療法協会の若手会員との
グループディスカッション

会員に海外交流の場を提供

【JOPTEP】



オンライン上で1対1の交流ができる

【Global Café】



月2回の海外PT交流イベント

4. 広報活動



広報活動の役割

国民の皆さまに迅速で有益な
理学療法関連情報を提供

ともに歩む会員の皆さまに
協会事業・業界の情報を提供

国民の皆さま向けの広報媒体

国民の皆さまの健康や暮らしにプラスとなる情報を発信

【WEBメディア】

ホームページ



リガクラボ
(Web)



【その他メディア】

理学療法ハンドブック

→国民の皆さまの
健康ハンドブック



理学療法士ガイド

→理学療法士の活動を紹介



会員の皆さま向けの広報媒体

会員の皆さまがイマを知り社会貢献に役立てるための情報を発信

【会報誌】

JPTA NEWS

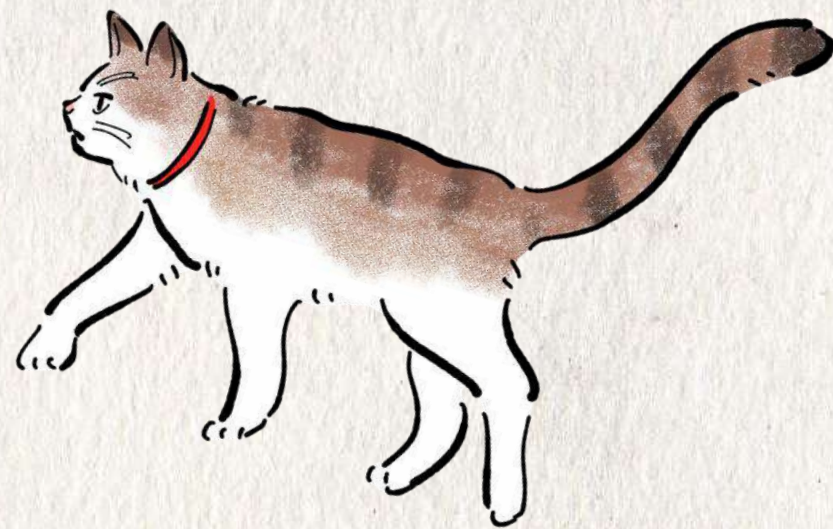


【会員専用ホームページ】

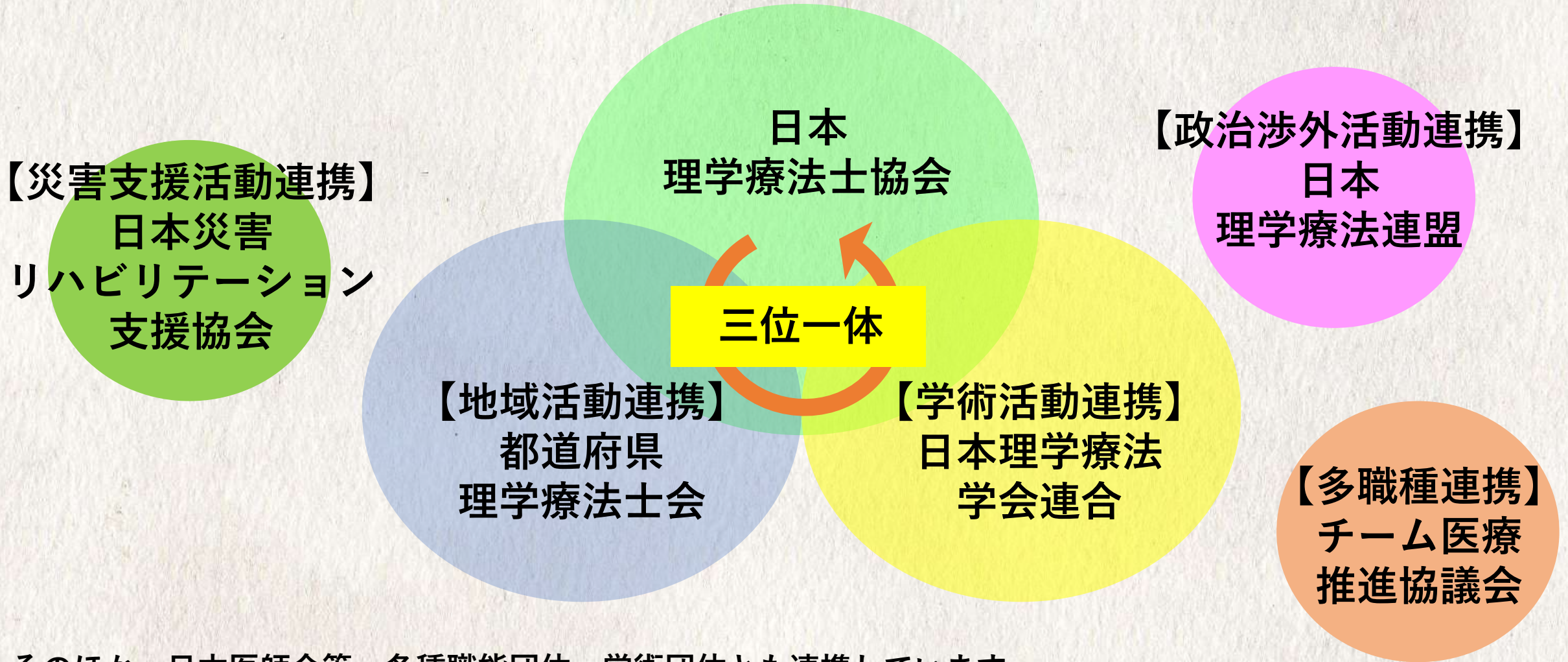
会員限定コンテンツ



外部団体との連携



協働・連携団体



そのほか、日本医師会等、各種職能団体・学術団体とも連携しています。

三位一体での連携

各都道府県理学療法士会や日本理学療法学会連合と連携して、
地域や研究分野に根差した活動を行っています。

【都道府県理学療法士会とは？】

全国47都道府県に設置される地域組織で、地域の特性に応じた活動を行っています。

ご卒業の皆さまには、各都道府県理学療法士会が開催する新入オリエンテーションへの参加をお勧めしています。

【日本理学療法学会連合とは？】

科学的根拠に基づいた理学療法の確立とその発信のために精力的に活動している団体です。

研究活動の成果を基に、理学療法の標準化や政策の提言にあたっています。

団体には**会員**の参加・協力が不可欠

私たち団体は、会員の参加・協力によって成り立っています。



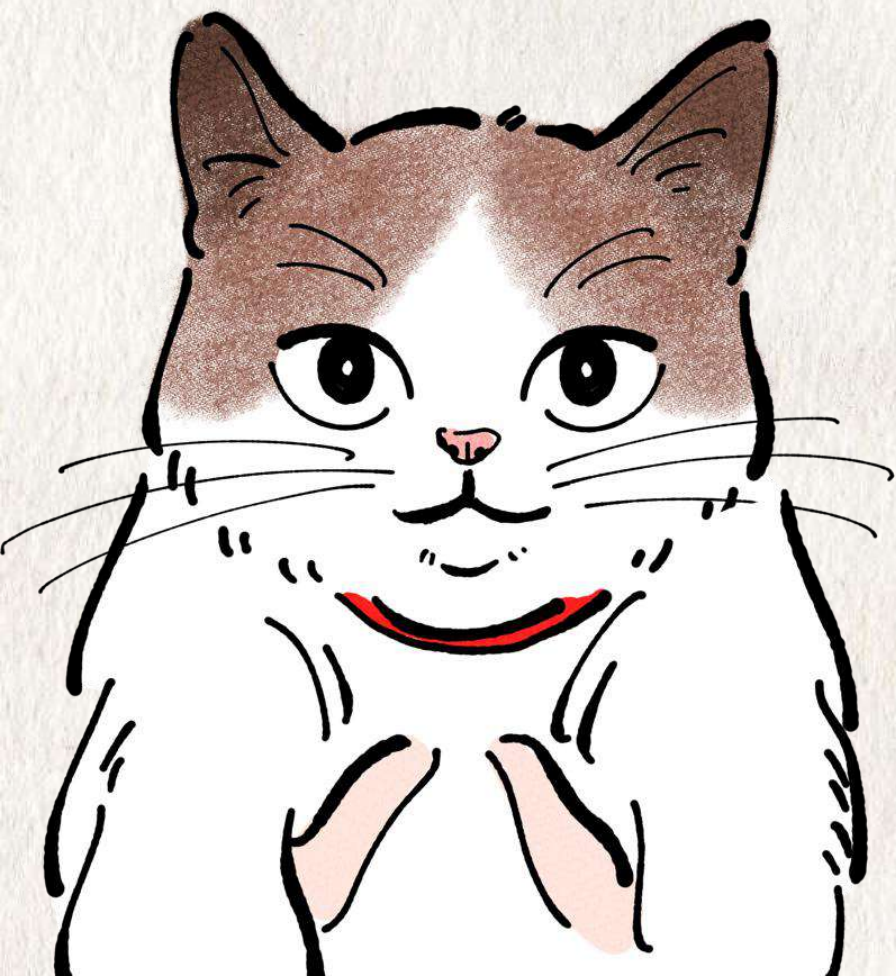
まとめ

理学療法士を目指し、学習に励む皆さんへ

**国民や社会へ貢献するためには、個人での活躍はもちろん、
力を合わせて理学療法士全体で発展することが必要です。**

**私たち日本理学療法士協会のことを知っていただき、
ぜひとも活用してください。**

いっしょにがんばろう
ニャー



少しでも、私たち
日本理学療法士協会に
興味を持っていたいただいたら、、、

もっと詳しく知りたい方は
こちら
日本理学療法士協会HPへ





公益社団法人

日本理学療法士協会

Japanese Physical Therapy Association